

気になるNEWS

ニュース



11月

14日 忍者文化研究プロジェクト2017 (ベトナム)

忍者文化研究プロジェクト レクチャー・デモンストレーション2017を、ホーチミン市師範大学および国際交流基金ベトナム日本文化交流センター協力のもと開催し、山田雄司人文学部教授、吉丸雄哉人文学部准教授、川上仁一社会連携特任教授が講演・実演を行いました。どの会場でも熱気にあふれていて、ベトナムでの忍者人気の高さを感じます。



23日 市民公開講座 上手に付き合おう「バイキン」と「クスリ」

会場の体験型ブースでは、顕微鏡で細菌を観察したり、蛍光塗料を用いて手洗いがしっかりとできているかを確認したり、正しいマスクの着用方法や咳をするときのエチケット等のクイズが用意され、参加者は感染症予防に対する理解を深めました。

幅広い年代の参加者が、体験型ブースでは楽しく、講演では熱心に学ぶ姿が印象的でした。



12月

2日 企業研究会 in 東紀州

東紀州サテライト及びキャリア支援センター主催による「企業研究会in東紀州」を開催し、31名の学生が参加しました。

今回の企画は、学生自らが東紀州を訪れ、地域の魅力や地元企業の魅力を知り、その地域で働くこと、暮らすこともイメージできるよう、企画しました。



7日 桂吉坊特別落語講座

講師の上方落語家桂吉坊さんは平成25年から毎年度開講してくださっています。29年度は、上方落語「犬の目」の上演後、「落語の哲学」というテーマで田中綾乃人文学部准教授との対談が行われました。平日にもかかわらず学内外から70名を超える来場者があり、多くの笑顔で溢れるひと時となりました。



10日 みえ地震対策の日シンポジウム (鳥羽市)

今回のシンポジウムでは、今後の私たちの地震・津波対策のあり方を改めて考え、災害に強い地域づくりを進めるため、「過去の震災から学び、未来に活かす」をテーマとして、東日本大震災、熊本地震等に関する講演や体験談に加え、地震の体験者、郷土史家、行政関係者によるパネルディスカッションが行われました。



1月

14日 みえアカデミックセミナー2017 移動講座

尾鷲市立中央公民館において、移動講座「感染症知らずの毎日過ごすには？」を開催し、51名の参加がありました。

この移動講座では、三重県内の各大学・学校の中から地域の学習ニーズにあったテーマを選定し、県内各地で出張講座を開催しています。



27日 第5回三重CST(コア・サイエンス・ティーチャー)シンポジウム

このプログラムは、平成24～27年度まで(独)科学技術振興機構(JST)の支援を受けて実施した「理数系教員(CST)養成拠点構築プログラム」を継続しているものです。今回が第5回目のシンポジウムとなり、CSTをはじめとする小中学校教員、教育委員会、協力企業などから66名が参加しました。



2月

14日 三重大学弓道部への学長表彰式

三重大学弓道部は、平成29年11月19日、20日に開催された第41回全日本学生弓道女子王座決定戦で準優勝し、平成27年度からの一連の活動内容と大会結果が評価され、学長表彰受賞に至りました。



3月

5日、8日 平成30年三重大学「学内企業説明会」

平成31年3月卒業・修了予定の学生を対象に、企業680社(170社/日)が参加し、延べ3,797名の学生が参加しました。

学生は真剣な面持ちで、積極的に人事担当者へ質問し、熱心にメモを取っていました。

また、141社の県内企業がブースを構え、それぞれの魅力をPRしました。



24日 三重大学シンポジウム「日本囲碁界の過去・現在・未来」

囲碁棋士の高尾紳路九段を特別招待し、その実兄である三重大学教員の高尾善希准教授の2名を中心に、日本の囲碁文化を参加者と一緒に考えることを目的に開催しました。

第1部では高尾准教授から研究発表が行われ、第2部では高尾九段と駒田学長、会場選出の5名による多面打ちが行われました。対戦者の方々は悩みながらも楽しんで対局を行いました。



25日 「三重大学伊勢志摩サテライト海女研究センター」を海の博物館内に開設

三重大学では、他大学の研究者や自治体の職員・博物館の職員等、多くの関係者の方々と海女に関する研究活動を展開してきました。

今回のセンター設置は、海女振興事業の中核施設である「海の博物館」を活動拠点に位置付けるものとしたものです。



29日 大学院教育学研究科が独立行政法人教職員支援機構と連携協定を締結

この協定は、両機関が相互に連携・協力し、教員養成及び研修の充実並びに高度化に寄与することを目的とするものです。

今回の協定締結により、双方が連携し、三重県における教員養成、教員研修指導者の資質向上の高度化に向けて取り組むこととなります。



4月

6日 留学生へ自転車を譲渡

環境ISO学生委員会は、継続的環境活動(3R活動:リユース・リデュース・リサイクル)の一環として、学内に放置されてきた自転車を法的手続きを経て回収・点検・修理し留学生への支援活動として無償譲渡する活動を行っています。今回の譲渡は新しく入学される留学生から希望者を募り、抽選にて選ばれた20名に対し、防犯登録等、事務手続き済みの自転車が贈呈されました。



20日 生物資源学研究科が鳥羽水族館と産学連携に関する包括協定を締結

三重大学と鳥羽水族館は、1955年に水族館が設立されて間もない頃から現在まで、様々な形で海洋生物を中心とした共同研究や調査等学術交流を実施しており、その成果としての共著論文も多数発表されてきました。

今回の協定締結により、相互連携による今後の一層の発展が期待されます。



12日 三重大学・福井大学による高大連携「科学探究プロジェクト」

三重大学工学部電気電子情報棟において「ようこそ不思議なLEDの世界へ～LED実験を体験しよう～」が開催されました。

当日は、三重県立松阪高等学校より生徒6名が参加し、教授によるLEDの仕組みの説明の後、LEDライトの作成やLEDライトと太陽電池を使った光通信の実験などに取り組みました。



5月

23日 「藤堂高虎と津のまちづくり」をテーマに前葉泰幸 津市長が講義をされました

「日本理解特殊講義(三重の歴史と文化)」にて、近世の三重を担った人々「藤堂高虎と津のまちづくり」をテーマに講義をされました。当日は約60名の聴講者が熱心に耳を傾け、質疑応答では、学生からの医療や教育などの質問にも丁寧にお答えいただきました。



27日 トヨタ・ソーシャル・フェス in 松名瀬 2018(春)開催

伊勢湾最大となる松名瀬干潟を、三重県初のラムサール条約への登録を目指した活動の一環として、350名が集まり、海岸清掃と干潟の生物多様性学習を実施しました。登録できる日に向けて引き続き10月27日(土)に開催しますので、多くの参加をお待ちしています。

